

沖縄県立北部病院消防用設備等点検業務委託仕様書

1. 目的

この仕様書は、消防防災設備が火災等の災害時において確実にその機能を発揮し、維持できるよう点検業務を行うための大要を示すものである。

2. 対象設備の範囲

この業務を実施する範囲は、沖縄県立北部病院（以下「病院」という。）及び、研修医等宿舎に設置された消防設備である。

業務内容

(1) この業務を実施する設備は次のとおりとする。

① 消火器具	92 本	⑩ 消防用水	1 式
② スプリンクラー設備	1 式	⑪ 排煙設備	1 式
③ 不活性ガス設備（窒素）	1 式	⑫ 連結送水管設備	
④ 粉末消火設備	2 式	（耐圧性能試験の実施を含む）	1 式
⑤ 自動火災報知設備	862 個	⑬ 非常電源（自家発電設備）	1 式
⑥ ガス漏れ火災警報設備	18 個	⑭ 総合操作盤	1 式
⑦ 火災報知設備（消防通報用）	1 式	⑮ 防火・防排煙設備	208 個
⑧ 非常警報器具及び設備	1 式	⑯ その他病院が指定する設備	
⑨ 誘導灯及び誘導標識設備	133 個		

(2) 法定点検等

対象設備を良好に維持するため、消防法等の規定に基づき保守点検を行うものとする。また、下記点検実施について未実施とならないよう 1 日以上の子備日を設ける。

ア 機器点検 1 回／年（8 月頃実施）

イ 機器及び総合点検 1 回／年（2 月頃実施）

ウ 防火対象物点検

(3) その他

ア 建築基準法 12 条に基づく点検業務の立ち会い及び補助（2 月頃）

イ 沖縄県立北部病院の消防訓練の補助等（年 2 回予定）

※必要に応じて過去の点検記録等の資料を貸与する。

3. 異常時の報告

この業務を遂行中に設備機器の異常を発見したときは、ただちに病院に報告し、協議の上適切な処置を講ずるものとする。

4. 官公署への届け

官公署への報告が必要なものについては、受託者においてこれを代行する。

5. 安全の確保

業務の遂行に当たっては、関係法令の遵守に努め、事故防止等安全の確保に万全を期さなければならない。

6. 確認事項

この業務の実施に先立ち、次の事項を記載した実施計画書を提出し、病院の係員と打ち合わせを行わなければならない。

- (1) 業務実施方法
- (2) 業務実施体制
- (3) 業務実施工程表
- (4) 業務種別毎の詳細表
- (5) 業務員名簿（業務上の責任者（以下「業務代理人」という。）等の名簿及び資格の充足を示す書類等）
- (6) 仮設、養生等の計画
- (7) 使用機材等の一覧表
- (8) その他必要な事項

7. 成果報告書

この業務を履行したときは、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 点検結果報告書
- (2) その他県が必要と認め提出を求めた書類

8. 病院係員の立会確認等

受託者は委託契約書に定める検査及び病院が指定する業務の終了時には病院職員の立会を求め確認を受ける。但し病院が承認した場合には立会によらず記録等により確認を受ける。

9. 機材等の負担区分

この業務の遂行に必要な計器、工具及び機材等は、原則として受託者が負担するものとする。但し、電力、用水等は無償で供与する。

10. 業務の実施

この業務は原則として日中に行うものであるが、病院が指定する業務については夜間もあるものとする。

11. 必要事項の充足

この仕様書は設備機器の点検の概要を示すものであるから仕様書に記載されていない事項であっても常識的に必要と認めるものにあつては、受託者においてこれを充足するものとする。また、消防訓練時に防火設備の動作・作動状況等の確認のため訓練実施の

際は立ち会いを行うこと。（消防設備修繕の補助についても可能な限り対応すること）